

京都文教大学臨床物語学研究センター主催

セラピストの コミュニケーション能力を 養うためのワークショップ V

本イベントは本学臨床心理学研究科の大学院生が実際にワークショップを体験し、ご来場される皆様は客席でその様子を見学していただく形式となっております。

平田オリザ先生による、演劇的手法を用いたコミュニケーション能力向上のワークは、何かを伝えることや、他者との関わりかたをめぐって様々な気づきが得られ、毎年好評をいただいています。

講師：平田オリザ先生

(劇作家・演出家、大阪大学特任教授、京都文教大学客員教授)

1962年、東京都生まれ。16歳の時に高校を休学し、1年半かけて自転車で世界一周の旅に出る。1982年に国際基督教大学へ入学し、翌年に劇団青年団を結成。1994年に代表作である『東京ノート』を初演。以来、世界各地で公演を行っている。2014年度より本学客員教授を務めている。近著に『対話のレッスン 日本人のためのコミュニケーション術』（講談社学術文庫）、『下り坂をそろそろと下る』（講談社現代新書）ほか多数。



撮影：青木可

司会・対談：秋田 巖

(京都文教大学臨床物語学研究センター所長)

精神医学・臨床心理学の観点から「日本人にとっての心理療法とは何か」を探究するべく、古典芸能を中心に、様々な分野の第一人者の方との対談を通じて「論」や「物語」だけでなく、演者の視点からも「日本の精神性」の本質に迫る努力が続けている。主著『さまよえる狂気』（創元社）、『人はなぜ傷つくのか』（講談社）、『写楽の深層』（NHK出版）等、共編著に『日本の心理療法』シリーズ：『思想篇』『自我篇』『身体篇』『国際比較篇』（新曜社）。



日時：2018年 6月 20日(水)

14:40 ~ 17:50 (開場 14:10)

会場：京都文教大学 同唱館 (どうしょうかん)

入場無料・申込み不要

近鉄京都線「向島駅」よりスクールバスを運行しています。(専用バス停は駅東側出口を北上)
お車でのご来場はご遠慮ください。

お問い合わせ：京都文教大学研究支援オフィス (臨床物語学研究センター担当)

〒611-0041 京都府宇治市槇島町千足80番地 電話： 0774-25-2494 メール：kyoumu2@po.kbu.ac.jp

